

長岡技術科学大学出身者 就業状況

— 採用・離職状況 —

調査結果

令和6年12月

国立大学法人 長岡技術科学大学

目 次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
2-1 本学出身者の採用実績の推移と大学（大学院生含む）新卒者採用実績の推移	2
2-2 本学出身者を採用する理由	4
2-3 過去3年間の本学出身者の離職状況・大学（大学院生含む）新卒者の離職状況	5
2-4 本学出身者の離職理由・大学（大学院生含む）新卒者全体の離職理由	6
3. まとめ	7

資料 アンケート用紙

1. 調査概要

※本調査の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

◇調査目的：本学出身者の就業状況について、本学卒業生・修了生の就職先企業の意見を伺い、問題・課題の有無を把握し、今後の就職指導の充実を図るため

◇調査対象：令和3年度～令和5年度の3年間に就職した企業・事業所745社

◇調査期間：令和6年7月～8月

◇調査方法：郵送による。回答はWEBアンケートフォーム使用

◇回収状況：回答企業数 320社（回答率43.0%）

◇回答企業属性

【メイン業種内訳】

業 種	社数	%
建設業	49	15.3%
製造業	150	46.9%
【製造業 中分類】※%は製造業の社数に対する比率		
食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	5	3.3%
繊維工業	1	0.7%
印刷・同関連業	2	1.3%
化学工業・石油・石炭製品製造業	17	11.3%
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	21	14.0%
はん用・生産用・業務用機械器具製造業	19	12.7%
電子部品・デバイス・電子回路製造業	21	14.0%
電気・情報通信機械器具製造業	13	8.7%
輸送用機械器具製造業	20	13.3%
その他の製造業	31	20.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	8	2.5%
情報通信業	40	12.5%
運輸業・郵便業	1	0.3%
卸売業・小売業	6	1.9%
不動産業・物品賃貸業	0	0.0%
学術研究・専門・技術サービス業	32	10.0%
教育・学習支援業	4	1.3%
医療・福祉	1	0.3%
サービス業(他に分類されないもの)	15	4.7%
公務(国家公務)	1	0.3%
公務(地方公務)	6	1.9%
上記以外のもの	7	2.2%

【従業員規模内訳】

従業員数区分	社数	%
50名以下	22	6.9%
51～100名	15	4.7%
101～300名	51	15.9%
301～500名	37	11.6%
501～1,000名	59	18.4%
1,001～3,000名	77	24.1%
3,001～5,000名	29	9.1%
5,001名以上	30	9.4%

【大学新卒者の採用状況】

大学新卒者の採用状況	社数	%
ほぼ毎年採用している	289	90.3%
一定の年数間隔で採用している	6	1.9%
必要な年に採用している(不定期)	21	6.6%
令和4年度・5年度は採用なし	4	1.3%

【募集職種】

職 種	社数	%
研究・開発	214	66.9%
設計・製造	220	68.8%
技術・サービス	224	70.0%
その他	72	22.5%

※複数回答 %は回答企業数（320社）に対する比率

◇調査結果概要：○本学出身者の採用理由について、「一定水準以上の能力が認められるから」が最も割合が高く（68.8%）であり、前回調査より2.8ポイントアップしている。また、「大学で履修した内容が業務に合致しているから」（51.6%）は、前回調査より3.1ポイントアップしており、社会の各分野において求められる人材育成に評価をいただいていることが分かった。

○本学出身者の3年間の離職率は8.5%であり、本アンケートにおける就職者全体の調査結果や厚生労働省が公表している調査結果と比較しても低いことが分かった。

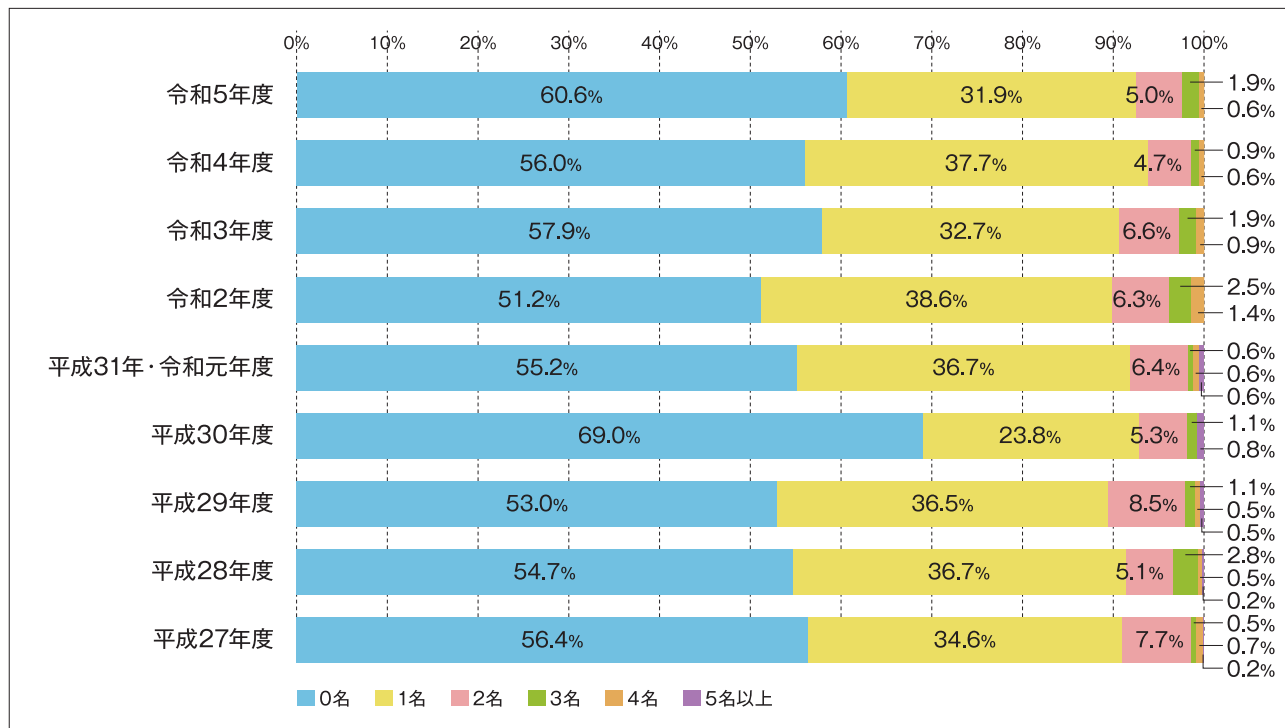
【過去3年間の就職者の離職率】

本学出身者	本調査回答企業の全就職者	厚生労働省公表
8.5%	10.2%	23.1%

2. 調査結果

■ 2-1 本学出身者の採用実績の推移と大学（大学院生含む）新卒者採用実績の推移

今回調査対象の直近3年間（令和3年度～令和5年度、以降「今回調査」という）の本学出身者の採用実績を見ると、採用のあった企業では、各年度とも1名と回答している企業が最も多い。過去2回の調査結果においても、おおむね同様の傾向である。一方で5名以上の採用は、令和2年度以降ゼロが続いている。（表1）



【表1】本学出身者の採用実績の推移

※単位：社 %は、各年度の有効回答社数に対する比率

入社年度	採用人数	0名	1名	2名	3名	4名	5名以上	計
令和5年度		192	101	16	6	2	0	317
		60.6%	31.9%	5.0%	1.9%	0.6%	0.0%	100%
令和4年度		178	120	15	3	2	0	318
		56.0%	37.7%	4.7%	0.9%	0.6%	0.0%	100%
令和3年度		184	104	21	6	3	0	318
		57.9%	32.7%	6.6%	1.9%	0.9%	0.0%	100%
令和2年度		187	141	23	9	5	0	365
		51.2%	38.6%	6.3%	2.5%	1.4%	0.0%	100%
平成31年・令和元年度		200	133	23	2	2	2	362
		55.2%	36.7%	6.4%	0.6%	0.6%	0.6%	100%
平成30年度		249	86	19	4	0	3	361
		69.0%	23.8%	5.3%	1.1%	0.0%	0.8%	100%
平成29年度		231	159	37	5	2	2	436
		53.0%	36.5%	8.5%	1.1%	0.5%	0.5%	100%
平成28年度		237	159	22	12	2	1	433
		54.7%	36.7%	5.1%	2.8%	0.5%	0.2%	100%
平成27年度		243	149	33	2	3	1	431
		56.4%	34.6%	7.7%	0.5%	0.7%	0.2%	100%

大卒者全体の採用数を見ると、各年度とも1～5名以下の採用数が最多ながら、11～20名と回答している企業が増加傾向である。(表2)

【表2】大学新卒者 採用実績の推移

※単位：社 %は、各年度の有効回答社数に対する比率

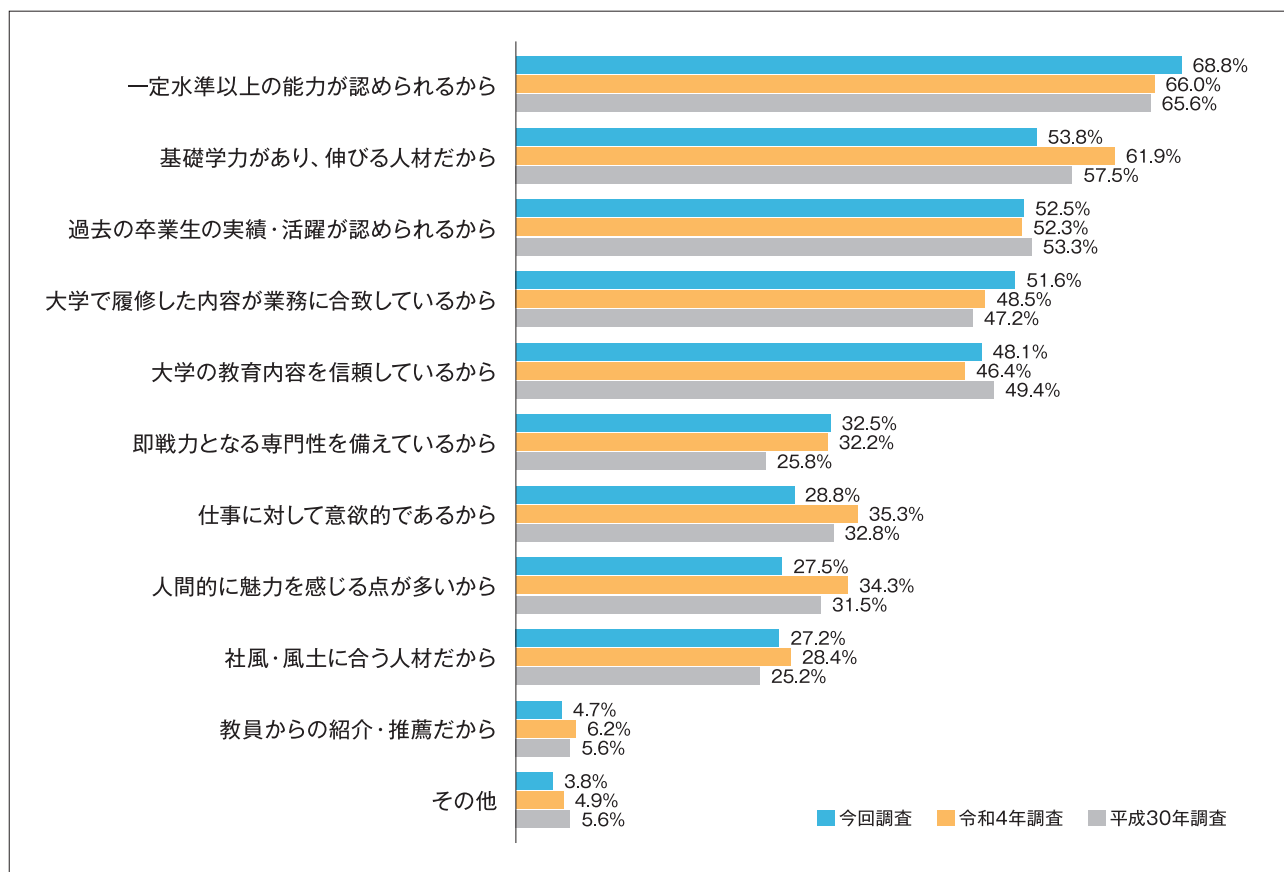
入社 年度	採用 人数	0名	1～5名	6～ 10名	11～ 20名	21～ 30名	31～ 40名	41～ 50名	51～ 100名	101～ 150名	151～ 200名	201名 以上	人数 不明	計
令和5年度		17	75	38	64	39	20	4	28	14	2	11	1	313
		5.4%	24.0%	12.1%	20.4%	12.5%	6.4%	1.3%	8.9%	4.5%	0.6%	3.5%	0.3%	100%
令和4年度		19	73	49	66	32	18	5	25	17	4	7	1	316
		6.0%	23.1%	15.5%	20.9%	10.1%	5.7%	1.6%	7.9%	5.4%	1.3%	2.2%	0.3%	100%
令和3年度		20	73	50	55	31	21	10	29	10	6	8	1	314
		6.4%	23.2%	15.9%	17.5%	9.9%	6.7%	3.2%	9.2%	3.2%	1.9%	2.5%	0.3%	100%
令和2年度		25	87	49	56	43	15	15	43	14	5	9	0	361
		6.9%	24.1%	13.6%	15.5%	11.9%	4.2%	4.2%	11.9%	3.9%	1.4%	2.5%	0.0%	100%
平成31年・ 令和元年度		13	88	48	65	40	15	17	43	18	4	8	1	360
		3.6%	24.4%	13.3%	18.1%	11.1%	4.2%	4.7%	11.9%	5.0%	1.1%	2.2%	0.3%	100%
平成30年度		22	79	57	63	32	20	16	40	16	6	7	1	359
		6.1%	22.0%	15.9%	17.5%	8.9%	5.6%	4.5%	11.1%	4.5%	1.7%	1.9%	0.3%	100%
平成29年度		21	104	72	64	45	21	16	49	18	9	17	2	438
		4.8%	23.7%	16.4%	14.6%	10.3%	4.8%	3.7%	11.2%	4.1%	2.1%	3.9%	0.5%	100%
平成28年度		23	104	70	70	45	19	15	51	16	5	17	3	438
		5.3%	23.7%	16.0%	16.0%	10.3%	4.3%	3.4%	11.6%	3.7%	1.1%	3.9%	0.7%	100%
平成27年度		22	106	72	70	45	22	13	49	10	7	15	3	434
		5.1%	24.4%	16.6%	16.1%	10.4%	5.1%	3.0%	11.3%	2.3%	1.6%	3.5%	0.7%	100%

2. 調査結果

※本調査の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

■ 2-2 本学出身者を採用する理由

過去2回の調査に続き、今回調査でも、「一定水準以上の能力が認められるから」(68.8%)が1位であった。前回調査と比較して3.1ポイントアップしている。「大学で履修した内容が業務に合致しているから」(51.6%)、「即戦力となる専門性を備えているから」(32.5%)の2項目については、これまでの調査で毎回ポイントを伸ばしており、社会の求める知識・能力を持つ人材の育成に一定の評価をいただいていることがわかる。



【表3】 本学出身者を採用する理由（最大5つまで選択）

回答（選択式）	今回調査		令和4年調査		平成30年調査	
	社数	%	社数	%	社数	%
一定水準以上の能力が認められるから	220	68.8%	256	66.0%	292	65.6%
基礎学力があり、伸びる人材だから	172	53.8%	240	61.9%	256	57.5%
過去の卒業生の実績・活躍が認められるから	168	52.5%	203	52.3%	237	53.3%
大学で履修した内容が業務に合致しているから	165	51.6%	188	48.5%	210	47.2%
大学の教育内容を信頼しているから	154	48.1%	180	46.4%	220	49.4%
即戦力となる専門性を備えているから	104	32.5%	125	32.2%	115	25.8%
仕事に対して意欲的であるから	92	28.8%	137	35.3%	146	32.8%
人間的に魅力を感じる点が多いから	88	27.5%	133	34.3%	140	31.5%
社風・風土に合う人材だから	87	27.2%	110	28.4%	112	25.2%
教員からの紹介・推薦だから	15	4.7%	24	6.2%	25	5.6%
その他	12	3.8%	19	4.9%	25	5.6%

※%は回答企業（今回調査320社、令和4年調査388社、平成30年調査445社）に対する比率

■ 2-3 過去3年間の本学出身者の離職状況・大学（大学院生含む）新卒者の離職状況

過去3年間の本学の就職者の離職率は8.5%で、大卒者全体の離職率と比較して、低い傾向にある。（表4）

また、厚生労働省発表の【参考】「新規学校卒業就職者の在職期間別離職状況（大学卒）」（以下、参考資料）を見ると、令和3年度は入社3年以内の離職率が約35%であるのに対し、本学就職者の離職率は11.5%と低い。各年度の入社1年目の離職率で比較しても、参考資料では10%以上であるのに対し、本学就職者の離職率は3.0%以下である。（表5）

【表4】過去3年間の就職者の離職状況

※単位：人 ※就職者数、離職者数が明確な回答のみ集計

入社年度	本調査回答企業の全就職者			内 本学出身者		
	就職者数	離職者数	離職率	就職者数	離職者数	離職率
令和5年度	7,998	341	4.3%	148	6	4.1%
令和4年度	7,449	800	10.7%	157	13	8.3%
令和3年度	7,248	1,169	16.1%	165	21	12.7%
計	22,695	2,310	10.2%	470	40	8.5%

【表5】本学出身者の過去3年間の在職期間別離職状況

※単位：人 ※就職者数、離職者数が明確な回答のみ集計

入社年度	就職者数	在職期間別の離職者数					
		入社1年目	入社2年目	入社3年目	小計	入社4年目	総数
令和5年度（2023年卒）	147	3	2		5		5
		2.0%	1.4%		3.4%		3.4%
令和4年度（2022年卒）	157	3	7	3	13		13
		1.9%	4.5%	1.9%	8.3%		8.3%
令和3年度（2021年卒）	165	5	3	11	19	2	21
		3.0%	1.8%	6.7%	11.5%	1.2%	12.7%
計	469				37		39
					7.9%		8.3%

※令和5年度について、表4の就職者数・離職者数との差異：長岡技大就職者数1名・離職1名と回答の企業において離職時期が不明のため、表5では就職者数・離職者数ともにマイナス1名としている

【参考】新規学校卒業就職者の在職期間別離職状況（大学卒） 出所：厚生労働省サイト 令和6年10月発表分

卒業	就職者数	3年目までの離職者数（人）			
		1年目	2年目	3年目	総数
令和5年3月（2023年卒）	456,267	49,928			49,928
		10.9%			10.9%
令和4年3月（2022年卒）	448,915	54,188	53,027		107,215
		12.1%	11.8%		23.9%
令和3年3月（2021年卒）	437,277	53,661	53,825	44,944	152,430
		12.3%	12.3%	10.3%	34.9%

※％は、就職者数に対する比率

2. 調査結果

■ 2-4 本学出身者の離職理由・大学（大学院生含む）新卒者全体の離職理由

今回調査における本学出身者の離職理由の1位は、「キャリアアップを目的とした転職のため」（27.3%）であった。大卒者全体の離職理由（表7）における同回答よりも約10ポイント高い。「本人がやりたい仕事ではなかった」（12.1%）は、過去2回の調査と比較して低下しており、就職活動時の仕事の理解不足によるミスマッチは減少傾向と推測される。（表6）

【表6】本学出身者の離職理由

回答（選択式）	今回調査		令和4年調査		平成30年調査	
	社数	%	社数	%	社数	%
キャリアアップを目的とした転職のため	9	27.3%	5	27.8%	2	9.1%
本人がやりたい仕事ではなかった	4	12.1%	7	38.9%	6	27.3%
健康上の都合	4	12.1%	1	5.6%	2	9.1%
職場の人間関係に馴染めなかった	4	12.1%	0	0.0%	2	9.1%
業務に適性がなかった	3	9.1%	1	5.6%	4	18.2%
能力面でついていけなかった	2	6.1%	1	5.6%	0	0.0%
家族の介護・看病のため	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%
結婚・出産・育児のため	1	3.0%	1	5.6%	2	9.1%
他の知識・技能・技術を学ぶため	1	3.0%	1	5.6%	2	9.1%
労働条件面で合わなかった	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%
家業継承のため	1	3.0%	0	0.0%	1	4.5%
その他	1	3.0%	1	5.6%	1	4.5%
	33	100.0%	18	100.0%	22	100.0%

※%は回答社数合計（今回調査33社、令和4年調査18社、平成30年調査22社）に対する比率

【表7】大学新卒者全体の離職理由

回答（選択式）	今回調査		令和4年調査		平成30年調査	
	社数	%	社数	%	社数	%
キャリアアップを目的とした転職のため	50	16.3%	52	16.8%	71	13.2%
本人がやりたい仕事ではなかった	46	15.0%	48	15.5%	93	17.3%
健康上の都合	39	12.7%	38	12.3%	50	9.3%
他の知識・技能・技術を学ぶため	28	9.2%	21	6.8%	48	8.9%
業務に適性がなかった	25	8.2%	23	7.4%	45	8.3%
職場の人間関係に馴染めなかった	24	7.8%	17	5.5%	39	7.2%
結婚・出産・育児のため	20	6.5%	25	8.1%	42	7.8%
家業継承のため	19	6.2%	20	6.5%	36	6.7%
能力面でついていけなかった	16	5.2%	17	5.5%	33	6.1%
労働条件面で合わなかった	10	3.3%	10	3.2%	15	2.8%
家族の介護・看病のため	10	3.3%	15	4.9%	27	5.0%
その他	19	6.2%	23	7.4%	40	7.4%
	306	100.0%	309	100.0%	539	100.0%

※%は回答社数合計（今回調査306社、令和4年調査309社、平成30年調査539社）に対する比率

3. まとめ

本アンケート調査を通して、本学出身者の就業状況、評価、課題が明らかになった。

まず、本学出身者の採用理由の上位は「一定水準以上の能力が認められるから」(68.8%)、「基礎学力があり、伸びる人材だから」(53.8%)、「過去の卒業生の実績・活躍が認められるから」(52.5%)であった。過去2回の調査においてもこの上位3項目は変動がなく、本学出身者への資質・知識へのご期待と、それを裏付けるOB・OG社員の活躍によって、長く本学の教育に評価をいただいていることがわかった。

また、「大学で履修した内容が業務に合致しているから」(51.6%)は、初回調査以来、毎回ポイントがアップしており、大学での学びが社会における実践に繋がっていることがわかる結果となった。

今回調査の主目的である本学出身者の離職状況について、過去3年間の本学の就職者数に占める入社3年以内の離職者数の割合は、8.5%であった。今回調査における就職者全体の調査結果、参考資料とした厚生労働省の調査結果との比較において、いずれも下回っており、本学出身者の離職率は低い。

とは言え、前回令和4年の調査では本学の就職者数に占める入社3年以内の離職者数の割合は3.0%であり、離職率は上がっている。この点については、離職理由の1位が「キャリアアップを目的とした転職のため」(27.3%)であったこと、人材の売り手市場という環境を踏まえると、従来のネガティブな捉え方をしづらいところではある。また、「本人がやりたい仕事ではなかった」は、過去2回の調査と比較して低下しており、就職活動時の仕事の理解不足によるミスマッチは減少していると推測される。

一方で、離職理由として「職場の人間関係に馴染めなかった」(12.1%)が増加しており、企業風土とのミスマッチや対人能力といった、新たな課題の可能性も出てきている。いずれも就職活動時には学生自身が判断しづらく、改善が難しい面ではあるが、学生のパーソナリティの把握、より詳しい企業情報の提供等、可能な施策を行っていきたい。

＜御 礼＞

今回のアンケート調査で、多くの企業様から貴重な情報を得ることができました。いただいたご意見を参考に、より社会に貢献できる学生を育成すべく、学生支援体制の充実を図るよう努めてまいります。ご多忙の中、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

【資料 アンケート用紙(設問内容)】

【別紙:設問内容 WEBフォームでの設問内容は、以下の通りです。予めメモしてご回答いただくための用紙としてご利用ください。

※ご回答については、本用紙への記入・送付ではなく、WEBフォームのみでの受付とさせていただきます。

長岡技術科学大学 出身者 就業状況調査

以下の質問について、長岡技術科学大学 卒業生・修了生全体について、可能な限りご回答いただけましたら幸いです。
ご多用の所、恐れ入りますが、ご協力の程お願い申し上げます。【ご回答期限 8月8日(木)迄】

回答フォームURL <https://x.gd/OGEnl>
エックス(ドット)ジー・ディー(スラッシュ)オー・ジー・イー・エヌ・エル

【必須】◆業種:メイン業種を1つ選択して下さい。

- | | | |
|--|--|--|
| ☐ 建設業 | ☐ 卸売業、小売業 | ☐ サービス業(他に分類されないもの) |
| ☐ 製造業 | ☐ 不動産業、物品賃貸業 | ☐ 公務(国家公務) |
| ☐ 電気・ガス・熱供給・水道業 | ☐ 学術研究、専門・技術サービス業 | ☐ 公務(地方公務) |
| ☐ 情報通信業 | ☐ 教育、学習支援業 | ☐ その他 |
| ☐ 運輸業、郵便業 | ☐ 医療・福祉 | |

◆「製造業」の場合、下記該当する項目を1つ選択してください。

- | | |
|---|---|
| ☐ 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業 | ☐ はん用・生産用・業務用機械器具製造業 |
| ☐ 繊維工業 | ☐ 電子部品・デバイス・電子回路製造業 |
| ☐ 印刷・同関連業 | ☐ 電気・情報通信機械器具製造業 |
| ☐ 化学工業・石油・石炭製品製造業 | ☐ 輸送用機械器具製造業 |
| ☐ 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業 | ☐ その他の製造業 |

【必須】◆従業員数:該当する口にチェックをつけて下さい。

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 50名以下 | ☐ 101～300名 | ☐ 501～1,000名 | ☐ 3,001～5,000名 |
| ☐ 51～100名 | ☐ 301～500名 | ☐ 1,001～3,000名 | ☐ 5,001名以上 |

【必須】◆大学新卒者の採用について:該当する口にチェックをつけて下さい。

- | | |
|---|---|
| ☐ ほぼ毎年採用している | ☐ 必要な年に採用している(不定期) |
| ☐ 一定の年数間隔で採用している | ☐ 令和4年度(2022年4月)・5年度(2023年4月)は採用なし |

【必須】◆理系学生を対象とした主な募集職種:該当する口にチェックをつけて下さい。(複数選択可)

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 研究・開発 | ☐ 設計・製造 | ☐ 技術・サービス | ☐ その他() |
|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|

Q1:貴社(事業所)における、過去3年間の大学新卒者(大学院生含む)採用実績と本学出身者の採用実績についてご教示下さい。

※無い場合は0とご記入下さい。

※採用の有無が不明な場合は「不明」、該当者がいるが人数が不明な場合は「該当者あり」とご入力をお願いします。

採用実績	大学新卒者(大学院生含む) 採用者総数	左記の採用者のうち 長岡技術科学大学出身者	左記の長岡技術科学大学出身者のうち「外国人留学生」の人数
令和3年度(2021年4月)入社	A 名	B 名	C 名
令和4年度(2022年4月)入社	D 名	E 名	F 名
令和5年度(2023年4月)入社	G 名	H 名	I 名

【必須】Q2:本学の学生をご採用いただく主な理由をご教示下さい。(最大5つまで)

- | |
|--|
| ☐ 大学の教育内容を信頼しているから |
| ☐ 大学で履修した内容が業務に合致しているから |
| ☐ 過去の卒業生の実績・活躍が認められるから |
| ☐ 一定水準以上の能力が認められるから |
| ☐ 基礎学力があり、伸びる人材だから |
| ☐ 即戦力となる専門性を備えているから |
| ☐ 社風・風土に合う人材だから |
| ☐ 仕事に対して意欲的であるから |
| ☐ 人間的に魅力を感じる点が多いから |
| ☐ 教員からの紹介・推薦だから |
| ☐ その他 { } |

(裏面に続く)

Q3-1: 貴社(事業所)における、過去3年間の大卒(大学院生含む)入社者の離職状況についてご教示下さい。

※無い場合は0とご記入下さい。

※離職の有無が不明な場合は「不明」、該当者がいるが人数が不明な場合は「該当者あり」とご入力をお願いします。

離職状況	貴社における大卒(大学院生含む)入社の離職者総数	左記の離職者のうち 長岡技術科学大学出身者	左記の長岡技術科学大学出身者のうち「外国人留学生」の人数
令和3年度(2021年4月)入社	A 名	B 名	C 名
令和4年度(2022年4月)入社	D 名	E 名	F 名
令和5年度(2023年4月)入社	G 名	H 名	I 名

Q3-2: Q3-1で回答いただいた「貴社における大卒(大学院生含む)入社の離職者」の退職理由について、把握している範囲でご教示下さい。

* 職場の人間関係に馴染めなかった (名) * 家族の介護・看病のため (名)
* 能力面でついていけなかった (名) * 家業継承のため (名)
* 本人がやりたい仕事ではなかった (名) * 結婚・出産・育児のため (名)
* 業務に適性がなかった (名) * 他の知識・技能・技術を学ぶため (名)
* 労働条件面で合わなかった (名) * キャリアアップを目的とした転職のため (名)
* 健康上の都合 (名) * その他 (名)
()

Q3-3: Q3-1で回答いただいた「長岡技術科学大学出身者の離職者」の退職理由について、把握している範囲でご教示下さい。

* 職場の人間関係に馴染めなかった (名) * 家族の介護・看病のため (名)
* 能力面でついていけなかった (名) * 家業継承のため (名)
* 本人がやりたい仕事ではなかった (名) * 結婚・出産・育児のため (名)
* 業務に適性がなかった (名) * 他の知識・技能・技術を学ぶため (名)
* 労働条件面で合わなかった (名) * キャリアアップを目的とした転職のため (名)
* 健康上の都合 (名) * その他 (名)
()

Q3-4: 長岡技術科学大学出身者の離職者が、入社後何年で離職したかをご教示下さい。

※無い場合は0とご入力下さい。(採用がない場合含む)

※離職の有無が不明な場合は「不明」、該当者がいるが人数が不明な場合は「該当者あり」とご入力をお願いします。

長岡技術科学大学出身者の 離職状況	入社1年目で離職		入社2年目で離職		入社3年目で離職		入社4年目で離職	
	総数	左記のうち 外国人留学生	総数	左記のうち 外国人留学生	総数	左記のうち 外国人留学生	総数	左記のうち 外国人留学生
令和3年度(2021年4月)入社	A 名	A2 名	B 名	B2 名	C 名	C2 名	D 名	D2 名
令和4年度(2022年4月)入社	E 名	E2 名	F 名	F2 名	G 名	G2 名		
令和5年度(2023年4月)入社	H 名	H2 名	I 名	I2 名				

Q4: 本学の出身者、就職支援活動、教育、その他全般につきまして、どのようなことでも結構ですので

ご意見・ご要望をお聞かせいただければ幸いです。

(調査報告書に掲載させていただく場合がございます)

()

Q5: 採用意識アンケート

以上

【お問い合わせ先】 国立大学法人 長岡技術科学大学
学生支援課 就職支援係【事務局2号棟1階】
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
TEL／0258-47-9251・9252（直通）
E-mail／syuusyoku@jcom.nagaokaut.ac.jp

2024.12